

令和 8 年

第 3 回市議会定例会 意見書案第 6 号

函館空港での戦闘機の訓練中止を求める意見書

上記の意見書案を函館市議会会議規則第 13 条第 1 項の規定により提出します。

令和 8 年 9 月 11 日提出

函館市議会議長 金 澤 浩 幸 様

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 函館市議会議員 | 富 山 悦 子 |
| 同   | 同       | 市 戸 ゆたか |
| 同   | 同       | 紺 谷 克 孝 |

## 函館空港での戦闘機の訓練中止を求める意見書

函館市は、2026年7月13日、防衛省北海道防衛局、航空自衛隊北部航空方面隊司令部および自衛隊函館地方協力本部から、函館空港で千歳基地所属のF-15戦闘機数機による連続離着陸訓練（タッチ・アンド・ゴー）を行うための事前協議を受けています。

これは、2025年4月から函館空港と函館港での自衛隊機や艦船の利用を国が決定したことにより、その具体化としての事前協議と考えられます。

函館空港は、市街地に隣接する便利さがある一方で、ジェット機の離着陸に伴う騒音により住民や学校、また一次産業への影響などが危惧されることから、周辺住民などで構成される空港周辺対策協議会が設置され、随時、函館市や国との協議が行われています。

今回のF-15戦闘機の訓練は、民間航空機や他の自衛隊機と比較し格段の大きさの騒音が想定され、地域住民の域を超え全市的な問題と考えられます。

加えて、何度も繰り返し離着陸する訓練なので、継続的な騒音が懸念されます。

また、F-15戦闘機は、2026年8月18日に沖縄県的那覇空港で事故を起こしているばかりか、過去にも墜落を含め事故が多発しています。

よって、政府並びに国会は、函館市民の安全と生活環境を守るためにも、函館空港での戦闘機の訓練を中止するよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和8年9月 日

函館市議会議長 金 澤 浩 幸